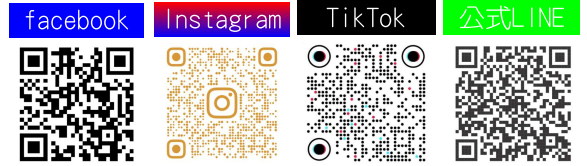


やり切る立場に立つ事が、やり抜く知恵を生む！  
2024年3月までに会員現勢200名の三原民商を！



# 三原民商NEWS

2023年4月17日/NO.774  
〒723-0052 三原市皆実4丁目19-1  
TEL (0848) 63-5070/FAX (0848) 63-5056  
E-mail: mihara-minsyu@forest.ocn.ne.jp  
URL: http://www18.ocn.ne.jp/~minsyu/

## 全商連・国保提言2022

### 三原の10年間の運動に学び合う

#### ― 広商連共済会・国保改善学習会 ―

広商連共済会は4月9日に国保改善学習会を広島市内で開催し、県内民商から47名が参加。全商連の国保提言2022を学び合い、実践報告として三原市国保制度をよくする会の経験に学び合いました。

三原民商から三原詰共済会理事と西村会長、事務局2名が参加。主催者あいさつで平野理事長は「春の運動では共済会拡大目標210名を達成しました。いつも言っています、民商の共済会は保険ではありません。仲間を増やせば、良い共済制度にすることができ、みんなで学習運動も進めましょう」と参加者に呼びかけました。



三原民商の経験に学び合う参加者



河辺事務局員

局員(広島市国保をよくする会事務局)が国保の制度を解説。河辺事務局員は「国民健康保険料は収入0円でも、保険料が発生する計算方法であり、誰もが安心して医療に掛かるためにも、問題点・改善点をまとめた全商連の国保提言2022を力に、国へ声を上げましょう」①生活実態に見合った水準に見直すこと、②滞納者



主催者あいさつする平野理事長

から正規保険証を取り上げを無くし、③売掛金を差し押さえるなどの制裁行政を是正させよう」と、国保料・税の引き下げをはじめ、制度改善への要求を強めていくことを呼びかけました。

#### 三原の経験に学び合う

その後、国保提言2022のポイントを伴田専務理事が解説。実践報告として、三原市国保制度をよくする会が行った西村会長と寺田元子市議の対談動画が上映されました。

運動提起では、寺田県連事務局員が「社会保障を構築するために、学習・共同・運動をキーワードに、国保制度の改善の運動を進めよう」と参加者に呼びかけ、閉会あいさつで新川会計は「国保の学びから国民が社会保障に関心をもち、改善させていく政治に変えていきま

一人はみんなのために、みんなは一人のために

## 三原民商共済会

	満15歳以上～65歳以下で加入された方	満65歳以上で加入された方	満75歳以上で加入された方
期間	満75歳まで	満75歳まで	終身
入院見舞金 (連続3日以上入院)	1日3,000円 入院初日より120日まで	1日3,000円 入院初日より60日まで	1日3,000円 入院初日より30日まで
結婚・出産祝金	2万円	2万円	2万円
火災見舞金	全焼10万円、全焼以外5万円		
死亡弔慰金 高度障害見舞金	20万円 (加入後3年以内は5万円 ※但し災害事由は20万円)	5万円	3万円
長寿祝金	5万円 満75歳の誕生日を迎えた人	—	
安静加療見舞金	1年に1回5,000円		

地方創生臨時交付金を活用した支援制度を要望

### 要求実現に全力

3月28日に閣議決定された地方創生臨時交付金の自治体への限度額が示され、三原市は約3億円となります。

三原市には、地方創生臨時交付金の繰越金が約2億円あり、財政調整基金も約70億円あり、これらの財源を活用すればコロナ禍に加え物価高騰で厳しい状況にある仲間の皆さんを支援し、事業継続の力になります。

#### 三原市へ要望

4月10日、寺田事務局員と岸事務局員は岡田市長へ要望書を届け、懇談を要請。三原市経



秘書課へ要望書を提出する寺田事務局員(右)

済部の本林係長へ趣旨説明を行いました。これまで、懇談が力となり、三原市独自の支援制度創設に繋がりました。懇談の日程は決まらず、次第お知らせします。みなさん、ぜひご参加ください。

1人につき月額 1,000円

民商会員と配偶者の方は無条件で加入出来ます！